

## ◆第2回研修会（地域学校協働活動推進研修会）

**1. 目的** 将来を担う子どもたちの教育を支えるため、幅広い層の地域住民や企業・団体等の参画により、地域学校協働活動が推進されることが求められている。また、コミュニティ・スクールの導入も広がりを見せるなか、地域にとって学校が資源として活用され、学校が核となり地域が生き生きと躍動する地域学校協働活動の展開が期待されている。

そこで、地域学校協働活動推進の中核を担う対象者へ、地域学校協働活動のさらなる展開に向けての方策について理解を深め、これからの地域と学校の在り方について学びを深めるために本研修会を開催する。

**2. 主催** 滋賀県教育委員会

**3. 対象** (1) 公立幼稚園・小・中学校教職員、県立高等学校・特別支援学校教職員

(2) 地域学校協働活動推進の中心となる方

(※地域学校協働活動推進員、統括的な地域コーディネーター、地域コーディネーター等)

(3) 地域学校協働活動に地域ボランティアとして参画している人

(4) その他地域学校協働活動に関係する方

(※CS関係者、各市町「学校を核とした地域力強化プラン」関係者、放課後児童クラブ関係者等)

**4. 日時** 令和元年7月12日（金）13：30～16：30

**5. 日程**

○講演

演題：「地域・学校が効果的に協働していく地域学校協働活動の在り方について」

講師：全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 橋本洋光 氏

(匝細亜大学非常勤講師 日本フィリピンボランティア協会会長)

○ワークショップ テーマ「地域の教育資源を生かした社会に開かれた教育課程をつくってみよう」

**6. 場所** 滋賀県庁東館7階大会議室

**7. 参加者数** 98名

**8. 概要**

- ・講師より、地域と学校の連携・協働の意義や活動に関わる地域連携担当教職員、コーディネーターおよびボランティアに求められる役割について具体的な事例をもとに説明いただいた。
- ・後半のワークショップでは、講師のファシリテートのもと、「地域の教育資源を生かした社会に開かれた教育課程をつくってみよう」とのテーマで活動をした。地域を基本要素として参加者をグルーピングし地域の教育資源を共有・活用していけるようにアイデアを出し合ってプログラムを作成した。また、成果物を交流し合うことで参加者がより深い学びをすることができた。

**9. 参加者のアンケートより**

- 各地域での取組について分かりやすく説明いただいた。これまで体験学習として取り組んできたことをさらにもう一步進めていくことで、地域とつながり、地域に貢献できる活動が見えてくると感じた。
- 様々な地域の成功例が具体例とともに紹介していただけたので視野が広がりました。地域学校協働活動に関わるコーディネーターなどの役割についても詳しく教えていただき、理解を深めることができた。
- 地域を共通項としてグループ分けしていただいたので、「教育資源」についてグループ内で熟議することができた。テーマに沿って深い話し合いができた。
- 「地域」には素晴らしい宝があることが他のグループの発表から知ることができた。そして、それを教材にしてグループで組み立てていくワークショップはとても楽しかった。グループで話をしていくことで同じ市でも地域によって特色がしっかりとあることが分かった。
- こういった研修会で「同じような悩みを持つ他地域との交流」があるとよい。悩みを共有し改善点を意見し合いたい。

